

令和6年度市民フォーラムのコンセプト

来年の全国廃棄物資源循環学会名古屋大会の開催を念頭においた市民フォーラムとする。

1. はじめに

前回（平成30年）の名古屋大会では【持続可能な資源循環とものづくり～目指せ安心・安全な循環型未来都市を】をテーマとして、次のようなコンセプトを掲げました。

- ① ストック資源の効率的かつ持続的活用、② 廃棄物の安心・安全な処理とリサイクル（資源環境）、③ 災害に強いまちづくりの再構築

今回の市民フォーラムでも、同様にこのコンセプトを継続させて、今までの支部活動を踏まえたうえで、そのメインテーマは東海・北陸支部の今後の取り組みとして『「ひとづくり」と「ものづくり」に配慮した持続可能な循環型社会の構築』を目標とします。

また、当支部は、人と環境のかかわりについての正しい認識に立ち、自ら責任ある行動をもって社会づくりに参加できる「ひとづくり」を進めています。その中で「環境教育への取り組み」も策定から約18年が過ぎようとしています。

2. 検討するにあたり基本理念の整理を！

我が国が人口減少、少子・高齢化社会を迎える中、経済成長を支える専門人材の育成は不可欠です。地域社会を支える人材育成と、ものづくり分野の振興が地域の産業を支える上で必須です。この取り組みは、ものづくり人材の育成と地域産業の振興に大きな影響を与えるでしょう。

また、グローバル化や産業の変化、技術革新が進む中で、ものづくりへの理解を深め、持続可能な社会システムや人間の豊かさを実現する未来を構築するために、環境と「ひとづくり」を目指した地域活動が大切です。

持続可能な社会システムや人間の豊かさを実現する未来を構築するためには、「人」と「コミュニティ」を生かした「持続可能な資源環境への発展」が重要となります。

学会構成員である大学、市民、行政、企業が、様々な問題・課題に直面しながら「持続可能な地域づくり」への取り組みと『東海・北陸地域の特性を生かした事業活動』を根付かせることが必要です。

一般社団法人 廃棄物資源循環学会 東海・北陸支部

～ 令和6年度市民フォーラムと定期総会開催のご案内 ～

日本の国土は、昔から自然災害が多く、それに伴い数々の被害を受けてきました。また同時に、四季折々の恵みに畏敬の念を抱きながら暮らしてもきました。

東日本大震災では、災害廃棄物が復興の大きな障害となりました。災害時に大量に発生し、適切な処分場所や方法がなく、環境汚染や感染症のリスクを高めました。また、災害廃棄物の撤去や運搬には多くの人員や広域処理が必要で、復興事業の遅れにつながりました。そのため都市部では、東日本大震災の反省を踏まえ、危機管理体制を整備してきましたが、**能登半島地震**では、地方部の危機管理体制が整っていない、まだまだ整備の必要があることが明らかとなりました。近年発生すると予想されている南海トラフ地震に向けて、地方部の危機管理対策を強化する必要があります。

一方、愛知県では、「自然と共生する社会」をテーマにした愛知万博が開催されました。その跡地利用として、環境に配慮した「愛・地球博記念公園（モリコロパーク）」という自然豊かな**都市計画公園**が作られました。大阪万博では、跡地利用として、埋め立て場の上に作られた人工島に、国際交流やイノベーションの拠点となる施設の建設が予定されています。これらの施設は、環境負荷を低減し、再生可能エネルギーを活用するなど、持続可能な社会づくりに貢献することが期待されています。

以上のように、**災害廃棄物の処理と跡地利用**は、災害復興や環境保全において重要な課題です。災害廃棄物の処理では、事前準備や迅速な対応が必要です。跡地利用では、環境に優しい施設や活動が求められます。これらの課題に対して、廃棄物資源循環学会を介して、自治体、大学、民間企業や市民団体が積極的に参加して「ひとづくり」、「ものづくり」を行い、結果として、「**持続可能な資源循環**」へと繋がっていく必要があると考えられます。

今回、能登半島地震の被災地状況や愛知万博の跡地利用における環境保全等の講演会を聞き、環境分野の知見を深め「今後の東海・北陸支部の取り組み」のヒントにします。

メインテーマ

『「ひとづくり」と「ものづくり」を 「持続可能な資源循環」へと繋げる』

■ 開催日：令和6年6月22日（土）

市民フォーラム 13時00分～17時50分

定期総会 11時00分～11時30分

■ 会 場 : 名古屋大学「減災館」

■ 定 員 : 60名程度

■ 参 加 費 : 廃棄物資源循環学会会員 : 1,000円、学生 : 500円、非会員 : 1,500円
(当日、受付でお支払い下さい。)

■ 意見交換会 : 市民フォーラム終了後、講師陣を囲んで行います。
18:10 ~ 20:10、会場 : レストラン「シェ・ジロー」)
会費 : 5,000円 (当日、受付でお支払い下さい。)

■ 主 催 : 廃棄物資源循環学会 東海・北陸支部

■ 後 援 : 愛知県

■ CPD 認定プログラム申請中

■ 会場への交通アクセス

地下鉄でお越しの方へ

・ <https://www.nagoya-u.ac.jp/contact/directions.html>

お車でお越しの方へ

・ [https://web-honbu.jimu.nagoya-](https://web-honbu.jimu.nagoya-u.ac.jp/fmd/04safety/traffic/image/notice01_entranceflow_20240401.pdf)

[u.ac.jp/fmd/04safety/traffic/image/notice01_entranceflow_20240401.pdf](https://web-honbu.jimu.nagoya-u.ac.jp/fmd/04safety/traffic/image/notice01_entranceflow_20240401.pdf)

名古屋大学 キャンパスマップ (C2⑤)

・ [https://web-honbu.jimu.nagoya-](https://web-honbu.jimu.nagoya-u.ac.jp/fmd/06other/shisetukanribu/image/various_map/higashiyama.pdf)

[u.ac.jp/fmd/06other/shisetukanribu/image/various_map/higashiyama.pdf](https://web-honbu.jimu.nagoya-u.ac.jp/fmd/06other/shisetukanribu/image/various_map/higashiyama.pdf)

減災館付近のマップ (1F 受付)



プログラム

令和6年6月22日(土)

於：名古屋大学「減災館」

時刻	内容	概要
11:00 ~ 11:30		定期総会（支部会員のかたはご出席下さい。）
11:30 ~ 13:00		昼 食
13:00 ~ 13:15	開会挨拶	廃棄物資源循環学会 東海・北陸支部 支部長
13:15 ~ 13:45	講演 ①	講演 「能登半島地震における珠洲市浄化センターの被災状況及び復旧作業について」 講師 川崎重工業株式会社 エネルギーソリューション&マリンカンパニー 環境プラント営業部 諸岡 隆良 氏
13:45 ~ 14:15	講演 ②	講演 「PS 灰を基材とした土質改良材「FT マッドキラー」の災害復旧工事への適用事例」 講師 株式会社フジタ 土木本部 土木エンジニアリングセンター 企画部 相良 昌男 氏
14:15 ~ 14:25		休 憩
14:25 ~ 14:55	講演 ③	講演 「奥能登クリーン組合 奥能登クリーンセンターの被災状況/復旧への取組み」 講師 エスエヌ環境テクノロジー株式会社 児玉 基希 氏
		講演 「ごみ処理施設における災害対策の事例紹介」 講師 日立造船株式会社 中部支社 山田 和樹 氏
14:55 ~ 15:55	講演 ④	講演 「能登半島地震から学ぶ」 講師 名古屋大学 減災連携研究センター 平山 修久 氏 環境省 中部地方環境事務所 水原 健介 氏
15:55 ~ 16:10		休 憩
16:10 ~ 17:20	講演 ⑤	講演 「愛・地球博の理念を継承したサステナブル・パーク『愛・地球博記念公園』の取組み ～愛知万博からの20年とこれから～」 講師 愛知県 都市交通局 都市整備部 公園緑地課 栗田 雅貴 氏 講師 日本工営都市空間株式会社 空間デザイン部 則竹 登志恵 氏
17:20 ~ 17:40	講演 ⑥	講演 「愛知万博20周年記念事業について」 講師 愛知県 政策企画局 企画調整部 愛知万博20周年記念事業推進室 輪違 優 氏
17:40 ~ 17:50	閉会挨拶	廃棄物資源循環学会 東海・北陸支部：伊藤 秀章
17:50 ~ 18:10		会場移動
18:10 ~ 20:10	意見交換会	レストラン「シェ・ジロー」

以上